

県立新発田病院跡地を多くの市民の皆さんが利用できる場所へ

市では、県立新発田病院跡地を、多くの市民の皆さんが利用できる場所とするため、次のとおり6つの基本テーマ（基礎テーマ1、付帯テーマ5）を設定しました。

基礎テーマ「緑化」

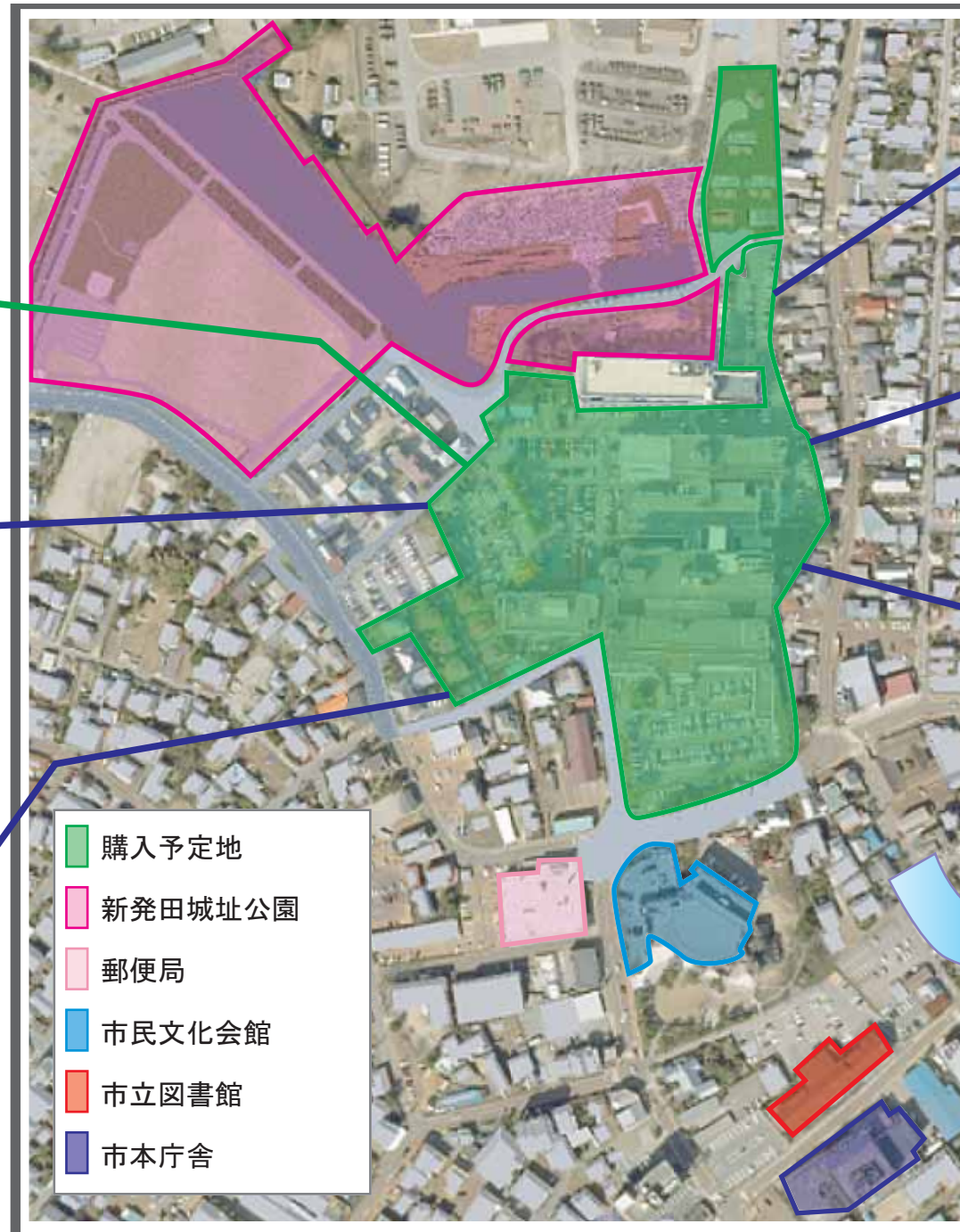
多くの市民のだれもが心休まる、「いこいの場」を提供するとともに、隣接する新発田城址公園との相乗効果を生み出すため、まちなかに広大な緑地の確保を推進する事業を展開する。

付帯テーマ①「防災」

新発田市における今後30年以内の地震発生確率は、文部科学省が行った平成18年調査によると、櫛形山脈断層帯では0.3～5%（予想地震規模マグニチュード6.8）、月岡活断層帯では0～1%（予想地震規模マグニチュード7.3）という結果であった。
このことを受け、安心・安全のまちづくりの推進を図る事業を展開する。

付帯テーマ②「行政サービス」

当該地周辺区域と寺町・清水園周辺区域に挟まれた街区は、「都市マスタープラン」や「中心市街地活性化基本計画」、「景観計画」において、公共施設が密集する公共施設区域と位置づけられている。そこで、市民の利便性を考慮し、当該地での公共施設の整備など、市民がまちなかに足を運び、1か所で用事を済ませるような事業を展開する。



付帯テーマ③「歴史・文化」

市民が、城下町400年の歴史を学び、次世代に継承できるように、伝統文化に触れる機会を創出し、文化活動の活性化を図るなど、新発田マインドの醸成を促進する事業を展開する。

付帯テーマ④「生涯学習」

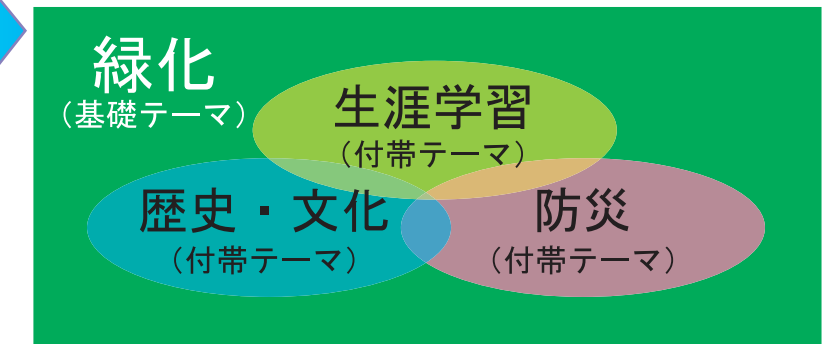
いきいきと輝く実りある人生を送ることができるよう、文化活動や趣味を通して、市民が生涯を通じての生きがいを感じることができるよう、学習の場や活動の場を設ける事業を展開する。

付帯テーマ⑤「賑わい創出」

市民がまちなかに足を運びやすくする事業を展開する。

整備イメージ（例）

緑化を基盤として、「生涯学習」、「歴史・文化」、「防災」の3つを組み合わせる場合…



緑化を基盤として、「賑わい創出」を組み合わせる場合…



基礎テーマである「緑化」を基盤として、5つの付帯テーマのいくつかを取り入れ、組み合わせることで、「市民が利用できる土地」としていく予定です。
そこで、市民の皆さんから「基本テーマ」や跡地の活用方法などについてご意見を募集するとともに、市民検討委員会を設置し、そこでの議論を参考にしながら、市で整備構想案を作成していきます。

6つの「基本テーマ」を設定するまでに検討した そのほかのテーマ候補

上記の6つのほかに、基本テーマの候補として「観光」、「物販・飲食」、「健康」、「福祉」、「定住」、「コミュニティ」、「スポーツ」、「青少年健全育成」といったものがありました。これらすべての候補を「公共性」、「必然性」、「利用対象者」、「場所の必然性」、「緊急度」の5つの評価項目に照らし合わせて検討し、6つの基本テーマを設定しました。

